



## 米国ワージントン市へ親善訪問

2017年10月18日～25日、溝口さんを団長に6名の親善訪問団が姉妹都市・米国ワージントン市を訪問しました。10月18日、コロンバス空港に到着。ワージントン市 WIFA のみなさまが温かく迎えてくれました。10月19日、Evening Street Elementary School を見学。ここは、ワージントン市内で唯一ソーラーパネルを使用している小学校であることを誇りとし、その特色を活かし電力についての学習にも取り組んでいます。児童たちが「Let the Sunshine in」の合唱や学んだことの発表もしてくれました。そして算数、音楽、社会など様々な授業を



空港で迎えてくださったワージントンのみなさんと

見学させていただき、児童に質問をする機会もありました。

McConnell Art Center では、美術館で地元アーティストの作品を鑑賞しました。ここでは、他にも演劇・陶芸・バレエダンス・絵画・デジタル・コンピューターなどのクラスもあり、劇場では演劇・クラシックから JAZZ コンサートも行われているそうです。そして Worthington Kilbourne High School を訪問し、生徒会長・副会長によるスクールツアーが催行され、合唱団の方々が歌をプレゼントし

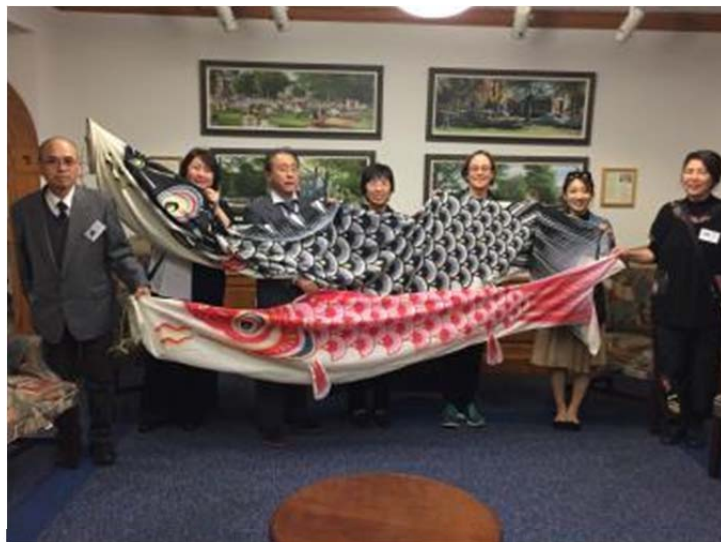


ホストファミリーのみなさんと

てくれました。Orange Johnson 歴史館を見学し、その後市役所でホストファミリーと顔合わせをしました。今日からは各家庭でのホームステイです。

10月20日、歓迎会が行われました。ワージントン市からは地元アーティストの作品である『The seasons』が贈られ、狭山市からは狭山市民から寄贈された「こいのぼり」を贈りました。市庁舎前に「こいのぼり」を飾った後、みんなで「こいのぼり」の歌を合唱し、心がひとつになった気がしました。消防署やコミュニティーセンター（サピオ稲荷山のような施設）を見学、ダウンタウンに行き、Dewey's というピザ屋でランチ・キャンドル作り・印刷&ノート作りなどを体験しました。その後図書館でも「こいのぼり」を贈呈しました。ツアーを案内してくれた方は以前ワージントン市訪問団として狭山市を訪れた方でした。

10月21日～22日は各自ホストファミリーと過ごしました。10月22日、ライアンさんの自宅でのSAKI PARTY(※日本酒を英語で”Saki”という)。10月23日、PHOENIX 中学校を訪問。8th graders (中学2年生) による吹奏楽の演奏や、7th graders (中学1年生) からは日本の中学校についての質疑応答(制服はある?携帯は学校に持っていてもいいの?成績のシステムは?)などがあり、とても興味を持って活発に質問してくれました。2016年に訪問団として狭山へ来てくれた Beth Cullian さんによるツアー。



図書館にも こいのぼり を贈呈

オハイオ州立大学、アメフトスタジアムも見学しました。Franklin park conservatoryでは、世界的に有名なガラス彫刻家 デイル チフリー の作品展示室や植物園内に溶け込むガラス彫刻を見学、天井に施された作品は、光に反射してまるで万華鏡のようでした。ガラスアート工房で実演見学。オハイオ州議会庁舎の見学にもいきました。

夜の WIFA 主催のお別れ会では、SIFA より着物(振袖)を贈呈し、佐藤晴美さんと Anne Brown さんが着物を着用してお披露目しました。そして WIFA からはガラスの置物(Franklin park conservatory より)を受贈しました。SIFA 訪問団からは安藤さんのギター演奏で” SUKIYAKI”の歌をプレゼントしました。

滞在期間中は 10 月には珍しく暖かい晴天に恵まれました。1993 年の友好都市交流から始まり、24 年間にわたる交流関係を築きあげてこられた両市・WIFA/SIFA 会員皆さまの努力の礎の下、今回の私たち訪問団を温かく迎えていただいたこと一同心より感謝しております。双方共にこの姉妹都市交流が末永く続くことを願うことを確認できた訪問でした。

\* 訪問団報告書の詳細は SIFA ホームページに掲載されております。ぜひご覧ください \*

## 水富小学校 『国際理解教育支援授業』

9月19日(火)、日本語学習部会スタッフと外国人学習者4名が参加して狭山市立水富小学校の5年生2クラスを対照として「国際理解教育支援授業」を実施しました。

外国人講師としてフィリピンの岡村理亜鈴さん、タイの荻原タナリンさんと齊藤プリアポンさん、中国の黒澤娣さんがそれぞれの出身国について教えてくれました。

「日本の小学校にあるもので、フィリピンの小学校にないものが3つあります。何でしょう？」

フィリピンの民族衣装を着た一番手の岡村さんの質問で授業が始まり、フィリピンについてわかりや



5年生2クラスの合同授業開始

すく紹介してくれました。



民族衣装を説明する岡村さん

二番手の荻原さんと斉藤さんは、タイでは挨拶の仕方が男女で違うことを教えてくれました。そして男子児童には男性用の民族衣装を、女子児童には女性用の民族衣装を着てもらい、みんなで楽しくタイの民族舞踊を踊りました。最後に登場した黒澤さんは、中国の小学校5年生用の教科書を見せてくれたり、中国と日本では意味が全く異なる漢字熟語（例：「手紙」＝「トイレトペーパー」）などを教えてくれたりと中国のありのままの姿を紹介してくれました。

約70名の児童たちは、みな熱心に耳を傾けてメモを取り、その紙は3枚4枚と増えていきました。



タイの民族を着た児童たち



同じ漢字でも意味が違うよ

授業の最後には、児童から「日本語は難しいですか?」「どのようにして日本語を勉強しましたか?」「日本の小学校と外国の小学校の違いはどんなところですか?」などの質問があり、質問に答える講師のみなさんは堂々と率直にそれぞれ自分の意見を述べていました。講師のみなさんが日々の努力で得たことばの重みも伝わり、児童にも先生方にもスタッフ全員にも感動ある授業になったことと思います。ご協力くださったみなさま、本当にありがとうございました。

10月10日(火)には、山王小学校でも、タイ・中国・フィリピン・エチオピアの4名の外国人が講師となり国際理解教育支援授業が行われました。

## S I F A 国際交流の集いのお知らせ

【日時】 12月10日(日) 11:00 ~ 14:00

【場所】 新狭山公民館

色々な国の料理を楽しみましょう!!皆様のご参加をお待ちしています。

**要事前申込み** 詳細は同封のチラシをご覧ください。



## インタビュー：狭山市にいる いろいろな国の「な・か・ま」



ディアブ・ガッサン さん ヨルダン－ハシミテ王国出身



Q：何年間狭山市に住んでいますか？ ご家族は？

ディアブ：1973年に初めて来日し浦安に住みました。

狭山には2005年からに住んでいます。

家族は4人です。娘は結婚して練馬に、息子はカナダに住んでいます。狭山では、奥さんと2人暮らしですが、現在入院中です。

Q：今何をしていますか？

ディアブ：ヨルダンレストランのシェフをしています。

Q：日本の何が好きですか？

ディアブ：梅干しは大好きです！（にっこり）

逆に日本の食べ物で苦手なのは「すき焼き」です。

お肉に砂糖で味付けするのが嫌いです。それと「卵かけご飯」です。

Q：今困っていることは？

ディアブ：日本の漢字がどうしても覚えられません、苦手です。

ディアブさんは昔を思い出すように語ってくれました。

パレスチナに生まれ、8歳の時には中東戦争になり、戦争体験はもうしたくないと。

強い口調で話されました。

現在は日本に住み、お隣近所のお付き合いにも慣れ、何年もここに住んでいるかのようにご近所の「元気なおやじさん！」で親しまれています。

彼の座右の銘は『初めての出会いで 優しく挨拶をし 心のバリアを取ることが大切です』

と外国に住む人たちの心得として語ってくれました。 インタビュー広報部会 角田栄子

### ☆第21回 にほんご発表会を開催します☆

日時：2018年2月4日（日） 13：30～

場所：中央公民館 第1ホール

（詳細は同封のチラシを参照して下さい）

### ★問合せ・申込み：狭山市国際交流協会・事務局

（狭山市役所 2F 市民文化課内）

〒350-1380 埼玉県狭山市入間川 1-23-5

・Tel / Fax：04-2952-4584

（月・火・木・金 9:00～16:00、水・土・日・祝日は休み）

・E-mail：[sifa2@nifty.com](mailto:sifa2@nifty.com)

・ホームページ：<http://sifa.information.jp/>

又は、[狭山市国際交流協会](#) ←検索 クリック

### 編集後記

10月は米国ワージントン市へ訪問団派遣、11月は韓国統営市からの訪問団歓迎と国際交流行事が続きます。12月はいよいよSIFA国際交流の集いが開催場所を新たに新狭山公民館で行われます。無事成功できるようみなで力を合わせてがんばりましょう。ご協力よろしくお祈りします。吉沼実理記